

平成23年度新入生合宿研修のご報告

22組担任 認知行動学分野 田中真樹

新1年生の合宿研修が、4月9日から1泊2日の日程で、例年どおり大滝セミナーハウスで行われた。入学時に学部を定めない「大きく入り試」の導入に伴い、今年度からは1年生のクラス分けがこれまでのような学部別ではなく、様々な学部への進学予定者が集まる混合クラスとなった。医学部医学科では定員107名のうち5名のみを大きく入り試枠としたため、大半の学生は入学当初から医学科への進学を約束されているものの、1年間は数人ずつ別々のクラスに配属される。従って、新入生にとってこの合宿は、他のクラスにどんな医学生がいるのか、お互いを知るよい機会となった。また、医学部の各クラブに所属する上級生たちにとっては、例年にも増して1年生を一度に勧誘することができる数少ない貴重な機会となった。今年度は玉木学部長をはじめとした教員7名と、医学部教務係の職員3名、ボランティアの2年生9名で101名（欠席1名）の新入生を引率した。私自身は二十数年前に新入生として参加して以来、2度目の参加となった。

朝10時に医学部玄関に集合し、3台のバスに分乗して出発した。私の乗った3号車では2年生の司会の中、車内でマイクが回され自己紹介が行われた。いつしか出身高校や経歴に加え、好きなタレントやバンドを紹介するようになって車内はそれなりに盛り上がっていったが、当方にとっては聞いたこともない名前ばかりで彼らの盛り上がり完全に取残され、思わず隣席の渡邊先生と顔を見合わせた。途中、千歳で休憩をとり、2年生の号令の中、おいしく食事をいただいた。レストランの一階が土産物屋になっていて、海産物用の大きな水槽がたくさん並んでいたが、3月の地震と原発事故で海外からの観光客が激減したためか、空の水槽が目立った。

大滝セミナーハウスに到着して部屋に荷物を運び込んだ後、さっそく研修会が始まった。玉木学部長の講話に引き続き、下記のプログラムで研修が進んだ。新1年生は、普段の医学部の講義ではとても見ることでできない程の集中力で、これらの話に聞き入っていた。各講演の後に質問の時間を設けると次々に手があがり、新しい大学生活への期待の大きさと学修への強い意気込みが感じられ、あらためて新鮮さを感じた。

夕食をはさんで飲酒に関する研修があった。これは全学的に毎年問題となる飲酒事故を減らすため、大学生活の始めにアルコール代謝に関する基本的な医学知識を身につけさせ、正しい酒の飲み方と急性アルコール中毒への対処法を教えるもので、研修の最後にはパッチテストで自分自身の体質チェックを行った。現在、北大の他学部の新入研修ではアルコール類は一切提供しないとのことであるが、医学科の研修では未成年者の名札に印をつけて飲酒厳禁とした上で、二十歳以上の希望者にはビールとチューハイの小さな缶が1本ずつ配られた。

研修会の後は、後発のバスで駆けつけた上級生らによる、課外活動の説明会があった。食堂のテーブルごとに各クラブの学生が陣取り、お菓子や飲み物（酒類は禁止）を並べて新入生の勧誘をしていた。毎年の光景のようであるが、大騒ぎの中、色々なテーブルをわたり歩く者や高校時代の先輩や同期生につかまって連れていかれる者、また、予想もしなかった騒ぎに戸惑い食堂から逃げ出す者など様々であった。課外活動説明会は10時で終了となり、上級生はバスで帰札したが、新入生の多くは夜遅くまで（一部は朝まで）思い思いの場所で話し込んでいた。受験勉強から解放され、これから始まる大学生活への期待に満ちあふれ、新しい仲間と語り合う彼らがうらやましく、また懐かしく感じられた。この合宿の夜のことは学生時代のよき思い出として、新入生たちの記憶にいつまでも残るに違いない。

翌日は部屋を片づけ、8時に朝食をとった。医学部の定員が増えたこともあり、食堂に全員分の椅子が無く、我々教員をはじめ、何人かは食堂の外で食事をとった。朝食後は下記のプログラム通りに3つの研修があり、

ほとんどの新入生は寝不足にもかかわらず、居眠りもせずに講演に聞き入っていた。帰りは洞爺湖畔のホテルに立ち寄って昼食をとり、そのまま帰札となった。帰りの車中ではさすがに多くの学生は眠りにつき、私も気がつくとバスはいつのまにか札幌市内を走っていた。こうして今年もまた、恒例の合宿研修が無事に終了した。

新入生合宿研修日程

日 程：4月9日（土）～4月10日（日）

司会（進行）：田中 真樹 教授（認知行動学分野：クラス担任代表）

4月9日（土）

- 9：50 医学部玄関前集合
- 10：00 医学部発〈バス会社：未定〉
- 12：00 昼食〈北海道まるごと市場〉
- 14：10 大滝セミナーハウス着
- 14：40 教職員紹介
- 15：00～17：00 研修Ⅰ（大研修室）
 - ①「医学部長挨拶・講話」 玉木 長良 医学部長（核医学分野）
 - ②「医学部6年間のカリキュラムについて」 秋田 弘俊 教授（腫瘍内科学分野）
- 17：00～18：00 夕食（食堂）
- 18：15～18：45 研修Ⅱ（大研修室）
 - ①「アルコールの正しい飲み方」〈パッチテスト〉 渡邊 雅彦 教授（解剖発生学分野）
- 19：00～22：00 上級生による課外活動概要説明（食堂）
- 22：00 上級生帰札

4月10日（日）

- 8：00～ 9：00 朝食〈朝食終了次第、帰り支度を整えること〉
- 9：00～10：30 研修Ⅲ（大研修室）
 - ①「共用試験及び臨床実習について」 小華和 柁志 准教授（医学教育推進センター）
 - ②「コンピュータ利用における著作権侵害および情報漏洩の防止について」 佐藤 松治 助手（広報室）
 - ③「安全衛生及び学生生活について」 笠原 正典 教授（分子病理学分野）
- 11：00 大滝セミナーハウス発
- 12：00 昼食〈万世閣ホテルレイクサイドテラス〉
- 13：00 洞爺湖発（中山峠で5～10分休憩）
- 15：40 医学部着